

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスグッドサポート			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 4日		～	2025年 4月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○従業者評価実施期間	2025年 2月 4日		～	2025年 4月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 24日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもたちの活動等のスペースを十分に確保すること	1Fフロアと2Fフロアで使い分けをし、適切な支援を行っています。基本的には1Fフロアで過ごす事が多いのですが個別の部屋(2フロア)で過ごせる体制は整えています。	今後は多様な活動を展開するために必要な設備を導入することで、それぞれの空間でできる活動の幅を広げ、こどもたちに提供できる体験や経験を増やすことができるように取り組んでまいります。
2	こどもたちが過ごしやすい環境づくり	常に空間除菌(プログレスウォーター)を噴霧し、玩具などは1つ1つ消毒しています。また、手すりやトイレなども定期的に清掃や消毒をおこなっています。常に空間除菌(プログレスウォーター)を噴霧し、玩具などは1つ1つ消毒しています。また、手すりやトイレなども定期的に清掃や消毒をおこなっています。	今後も継続して利用開始前と後に必ず清掃と消毒を行い、心地よく過ごせるように心がけていきます。感染症対策をおこなうことで感染症拡大を防止していき、ご家族の方も安心してお子様を預けられる環境づくりができるように継続してまいります。
3	職員が日々こどもたちの支援に関わる体制づくり	毎日、朝礼にて意見交換の場を設けていて支援について情報共有をおこなっています。月1回は会社全体の会議を行って、職員全員がご利用のこどもたち全員の特性を理解し、すべてのこどもの支援に関わることができるように取り組んでおります。そのことで、こどもたちにとっては相談できる職員がたくさんでき、こどもたちの判断と一緒に活動する職員を選択できる環境となっております。	在籍している職員が継続的にこどもたちの支援に関わることができる環境づくりに取り組むことで、こどもたちの特性への理解を深め、指導員間での連携を高めることでより支援の質を高めることができるように取り組んでまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会の頻度について	学校や児童クラブ等での集団活動に参加できないこどもたちも多くご利用いただいているため、地域の他のこどもとの活動が精神的な負担になることも懸念されます。ただ単に交流する機会を設けるのではなく、ご利用いただいているこどもたちが負担を感じないよう、交流に目的や目標をしっかりと設定し、こどもたちの特性に十分に配慮した交流の機会を提供する事が重要であると考えております。	今後は子供たちがなるべくストレスなく地域の他のこどもと活動する機会とともに、こどもたちが普段の生活の中で関わる機会がない世代の方々と一緒に楽しく活動する機会を企画・提供できるように取り組んでまいります。
2	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族も参加できる研修会等の機会について	さまざまな特性のこどもたちにご利用いただいております。また、課題感もさまざまであるため、一律的なペアレント・トレーニングを実施することが効果的か検討する必要があると考えております。	各ご家庭やこどもの個別の課題感や支援については、随時メールや電話等で情報共有させていただき、必要に応じて面談の場を設けて課題にあわせた情報提供やアドバイス等を行ってまいりたいと思います。
3	各種マニュアルの策定や非常災害を想定した定期的な避難訓練等の情報発信について	各種マニュアルを策定したり、定期的な避難訓練を実施したりしています。また、それらの内容が、保護者の皆様により伝わりと伝わっていない現状があります。	各種マニュアルや避難訓練の実施を扱ったお手紙等のご案内の発信やインターネット等で投稿していくことで、他の情報に埋もれず、保護者の皆様によりしっかりと情報をお伝えすることができる仕組みづくりに取り組んでまいります。

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスグッドサポート			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 4日		～	2025年 4月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	7
○従業者評価実施期間	2025年 2月 4日		～	2025年 4月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 24日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもたちの活動等のスペースを十分に確保すること	1Fフロアと2Fフロアで使い分けをし、適切な支援を行っています。基本的には1Fフロアで過ごす事が多いのですが個別の部屋（2フロア）で過ごせる体制は整えています。	今後は多様な活動を展開するために必要な設備を導入することで、それぞれの空間でできる活動の幅を広げ、こどもたちに提供できる体験や経験を増やすことができるように取り組んでまいります。
2	こどもたちが過ごしやすい環境づくり	常に空間除菌（プロGRESウォーター）を噴霧し、玩具などは1つ1つ消毒しています。また、手すりやトイレなども定期的に清掃や消毒をおこなっています。常に空間除菌（プロGRESウォーター）を噴霧し、玩具などは1つ1つ消毒しています。また、手すりやトイレなども定期的に清掃や消毒をおこなっています。	今後も継続して利用開始前と後に必ず清掃と消毒を行い、心地よく過ごせるように心がけていきます。感染症対策をおこなうことで感染症拡大を防止していき、ご家族の方も安心してお子様を預けられる環境づくりができるように継続してまいります。
3	職員が日々こどもたちの支援に関わる体制づくり	毎日、朝礼にて意見交換の場を設けていて支援について情報共有をおこなっています。月1回は会社全体の会議を行っていて、職員全員がご利用のこどもたち全員の特性を理解し、すべてのこどもの支援に関わることができるように取り組んでおります。そのことで、こどもたちにとっては相談できる職員がたくさんで、こどもたちの判断と一緒に活動する職員を選択できる環境となっております。	在籍している職員が継続的にこどもたちの支援に関わることができる環境づくりに取り組むことで、こどもたちの特性への理解を深め、指導員間での連携を高めることでより支援の質を高めることができるように取り組んでまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会の頻度について	学校や児童クラブ等での集団活動に参加できないこどもたちも多くご利用いただいているため、地域の他のこどもの活動が精神的な負担になることも懸念されます。ただ単に交流する機会を設けるのではなく、ご利用いただいているこどもたちが負担を感じないよう、交流に目的や目標をしっかりと設定し、こどもたちの特性に十分に配慮した交流の機会を提供する事が重要であると考えております。	今後は子供たちがなるべくストレスなく地域の他のこどもと活動する機会とともに、こどもたちが普段の生活の中で関わる機会がない世代の方々と一緒に楽しく活動する機会を企画・提供できるよう取り組んでまいります。
2	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族も参加できる研修会等の機会について	さまざまな特性のこどもたちにご利用いただいておりますが、また、課題感もさまざまであるため、一律的なペアレント・トレーニングを実施することが効果的か検討する必要があると考えております。	各ご家庭やこどもの個別の課題感や支援については、随時メールや電話等で情報共有させていただき、必要に応じて面談の場を設けて課題にあわせた情報提供やアドバイス等を行ってまいりたいと思います。
3	各種マニュアルの策定や非常災害を想定した定期的な避難訓練等の情報発信について	各種マニュアルを策定したり、定期的な避難訓練を実施したりしています。また、それらの内容が、保護者の皆様にとりかかりと伝わっていない現状があります。	各種マニュアルや避難訓練の実施を扱ったお手紙等のご案内の発信やインターネット等で投稿していくことで、他の情報に埋もれず、保護者の皆様にとりかかりと情報をお伝えすることができる仕組みづくりに取り組んでまいります。